



アンコール来訪者 行動論理 規範

アンコールへようこそ!

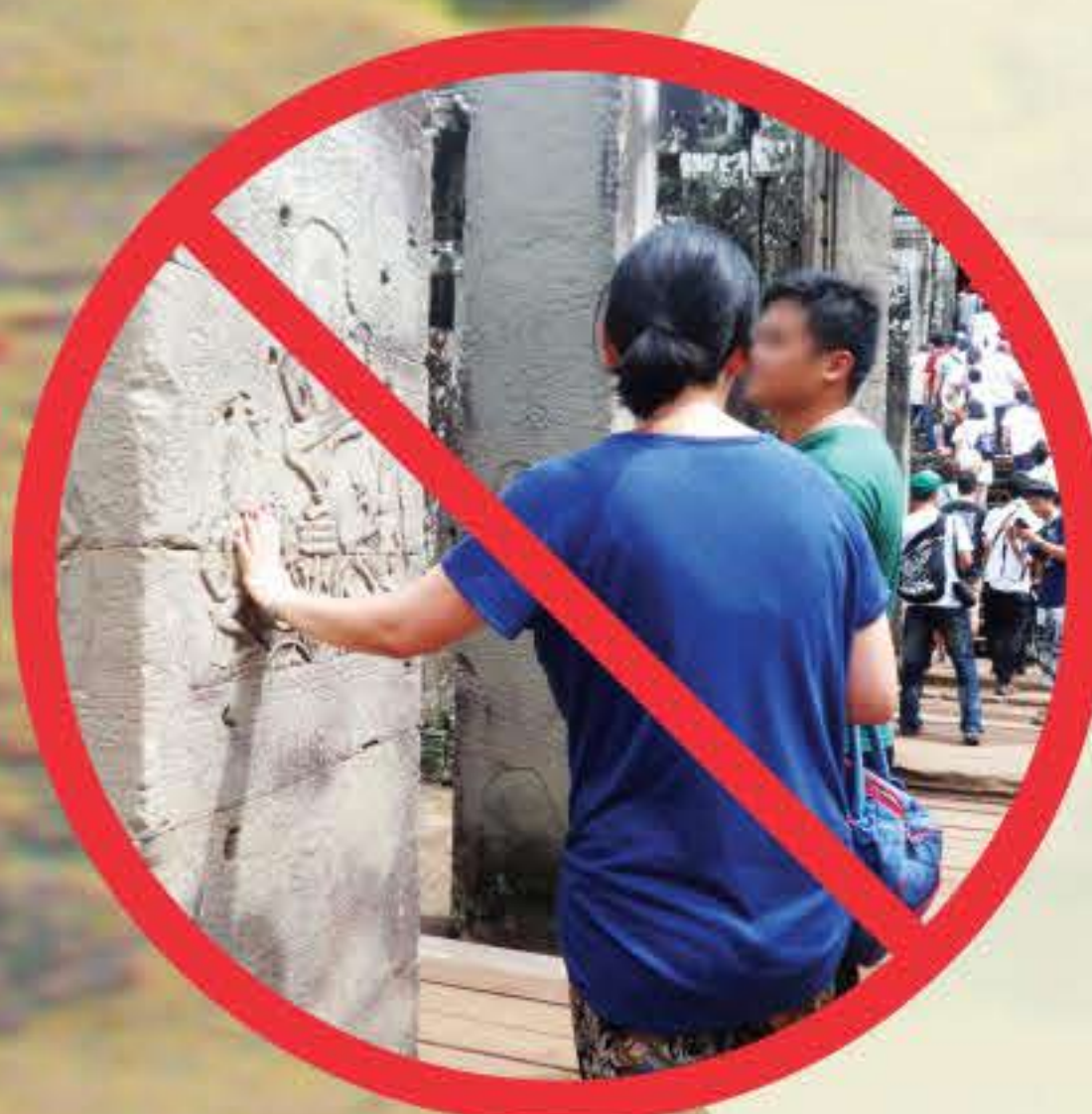
アンコールは9世紀から15世紀の間クメール王朝の首都であり、12世紀には一時世界最大の都市でした。今日においても、なおアンコールは日々の参拝、祈りそして瞑想に従事する仏教徒や市民にとって、活動的で精神的な遺跡です。またアンコールは何世代にも亘り代々生活を営んできた13万人の住民の生きた遺跡です。私たちアンコール地域遺跡保護管理機構（アプサラ機構）は、1995年以来アンコールの保全と持続可能な開発の責任を負ってきました。私たちの目標の一つは、観光客の体験を公共の安全及び私たちの地域社会への尊重に調和させることです。本行動論理規範は、この目標を支持するために作成され、地域社会、観光来訪者、ツアーガイド、遺跡修復チームの方々と協力して開発されました。

あなたのアンコール観光経験を豊かにし、アンコールを次世代の人達に継承するために、以下の点をお読みになりご遵守くださるようお願い申し上げます。



① 服装規定

透けている服や膝上まで露出しているショートパンツやミニスカートなど、また肩が露出しているような服装は神聖な場所では禁止されています。アンコールにおいては敬意ある服装を奨励いたします。



② 遺跡

彫刻に触れること、脆弱な建造物の上に座ること、寺院の建造物に寄りかかること、考古学的遺物やグラフィティを動かしたり持ち帰ることなどは固く禁止されています。バックパック/リュック、鋭い先端を持った傘、三脚やハイヒールなどの寺院の内部への持込みや利用は、ご遠慮くださるようお願いいたします。



③ 聖地

アンコールは聖地遺跡です。大声での会話や騒音を発したりカンボジア文化から見て不適切と思われる行為は攻撃的態度とみなされるだけでなく、他の訪問者の迷惑にもなります。静粛に敬意を持って訪問してください。



④ 規制区域

ご自身の安全とアンコールの保全のために、遺跡にある案内サインを遵守し常に足元には留意してください。転がっている石や積み重なっている石の上に登らないようにお願いします。



⑤ 喫煙とごみの投げ捨て

世界保健機関（WHO）の一員として、2012年以来アンコールは全遺跡禁煙となっています。喫煙は他人への迷惑となるだけでなく、タバコは火災の原因となります。環境を保護するために、喫煙やごみの投げ捨てをしないでください。



⑥ 菓子やお金を子どもたちに与えること

子供たちから物を買ったり菓子やお金を与えることは彼らを学校に行かないようにし、施しを乞うことを助長します。もし子供たちを支援したいならば、認知された慈善団体への寄付をご検討ください。



⑦ 僧侶

僧侶たちは崇敬されまた尊敬されています。もし写真を撮りたい場合は、許可を求めてください。女性は、僧侶に触れたり彼らに近づきすぎて立ったり座ったりしないでください。

⚠ 略奪破壊やアンコールに損傷を与える行為、または公共エリアでの性器の露出やヌードになる行為は、犯罪であり法律によって処罰されます。

